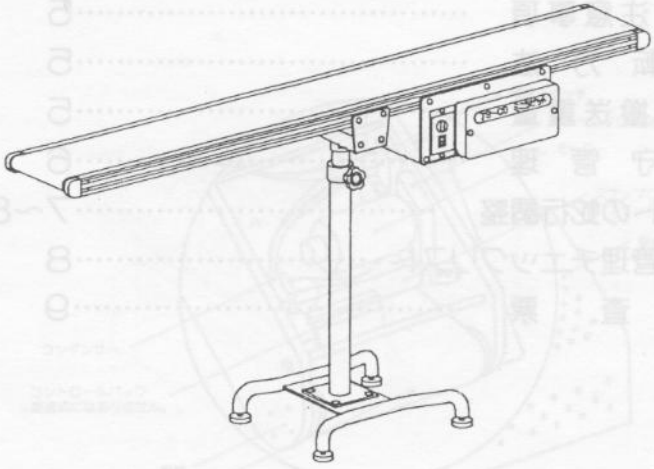
mini-RABBIT CONVEYOR

ミニラビットコンベヤ

■平ベルト型
　●スタンダードタイプ／●センタードライブタイプ
■サン付きベルト型

取扱説明書

正しくご使用頂くために、ご使用に際しましては必ず
この説明書をお読みのうえ、安全にお使い下さい。



テラウチのコンベヤ

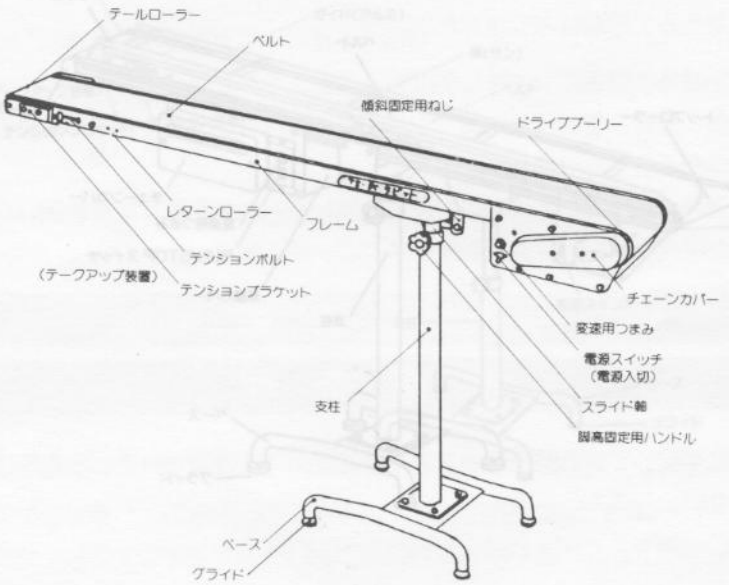
このたびは、「ミニラビット・コンベヤ」をお買上げ頂きまして、まことに有難うございます。
この取扱説明書は「ミニラビット・コンベヤ」の正しい取扱い、保守などについて説明したものです。お読みの上、運転と保守管理に充分注意し、安全にご使用お願い致します。
なお、お読みになられたあとも、大切に保管されますようお願い申し上げます。

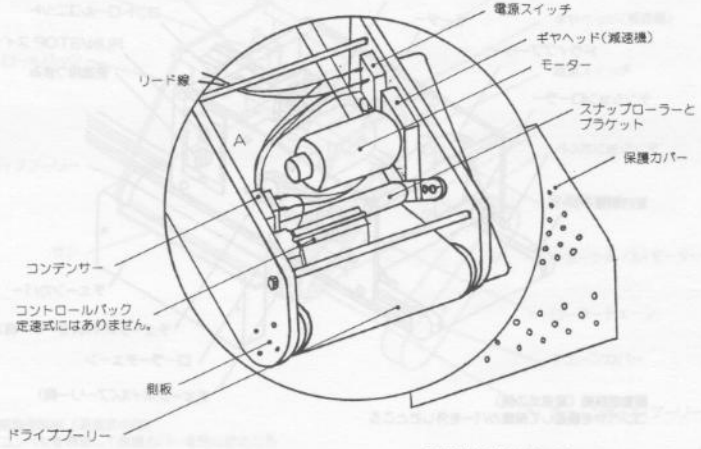
INDEX

各部の名称 ……1～3
ご使用前の確認事項 ……4
使用条件 ……4
取扱注意事項 ……5
運転方法 ……5
許容搬送重量 ……5
保守管理 ……6
ベルトの蛇行調整 ……7～8
保守管理チェックリスト ……8
検査票 ……9

各部の名称

■平ベルト型／スタンダードタイプ



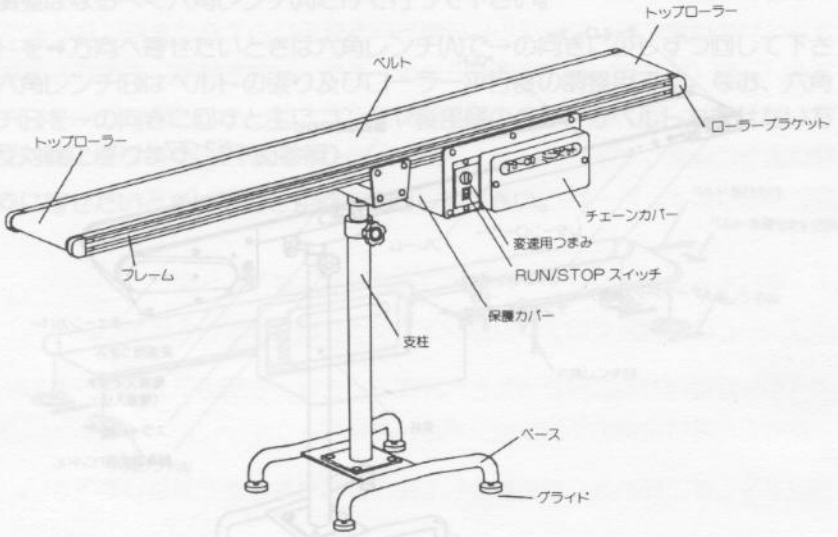


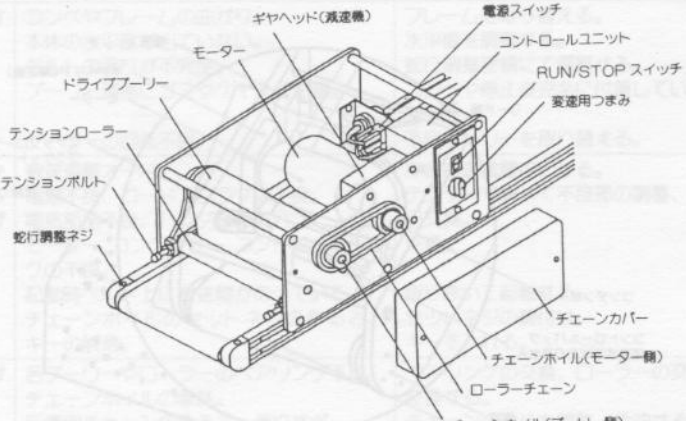
（Wはベルト巾を示す）

駆動部詳細（変速式の例）
コンベヤを裏返して保護カバーを外したところ

各部の名称

■平ベルト型／センタードライブタイプ

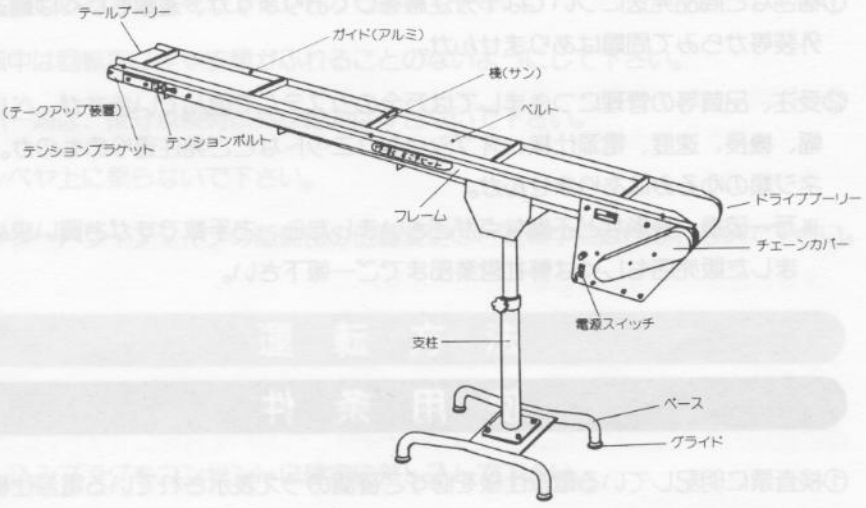


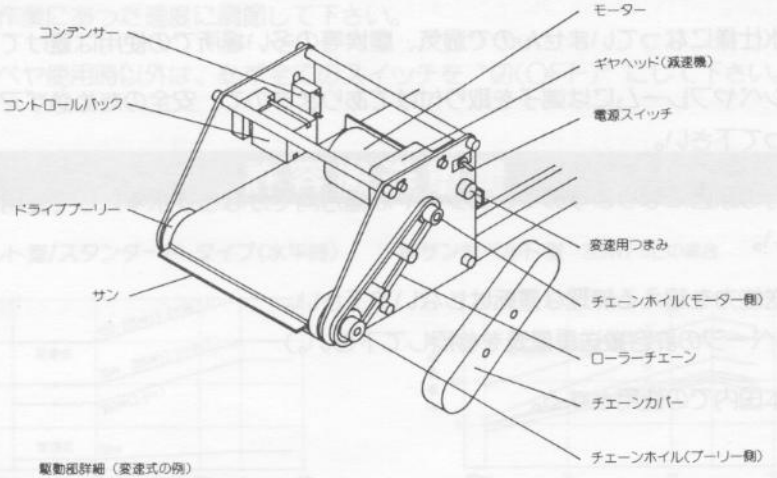


駆動部詳細（変速式の例）
コンベヤを裏返して保護カバーを外したところ

各部の名称

■サン付きベルト型





駆動部詳細（変速式の例）
コンベヤを裏返して保護カバーを外したところ

ご使用前の確認事項

商品が到着しましたら、つぎの点をご確認下さい。

①梱包など商品発送については十分注意をしておりますが、運搬もしくは輸送中に外装等からみて問題はありませんか。

②受注、品質等の管理につきましては万全のシステムで臨んでいますが、ベルトの幅、機長、速度、電源仕様、オプションユニットなどご発注通りのものか。取付ネジ類のゆるみはありませんか。

※万一破損、変形など不備な点がございましたら、お手数ですがお買い求め頂きました販売店もしくは弊社営業部までご一報下さい。

使 用 条 件

①検査票に明記している電源仕様を必ずご確認のうえ表示されている電源仕様でご使用下さい。

②屋内に限る。

③室温0～40℃の範囲でご使用ください。

④防水仕様になっていませんので湿気、塵埃等の多い場所での使用は避けて下さい。

⑤コンベヤフレームには端子を取り付けてありますので、安全のため必ずアースをとって下さい。

⑥蛇行の原因になりますので、コンベヤは幅方向でかならず水平にして使用して下さい。

⑦搬送能力を超える無理な運転はしないで下さい。
（5ページの許容搬送重量表を参照して下さい。）

⑧日本国内での使用とする。

⚠取扱注意事項

①保守点検や修理、部品の交換時は、電源スイッチを〝切(OFF)〟の状態にして、必ず差し込みプラグをコンセントから抜いて下さい。

②運転中は回転部に手や衣類がふれることのないようにして下さい。

③カバー類は、保守点検時以外は絶対はずさないで下さい。

④コンベヤ上に乗らないで下さい。

⑤センタードライブタイプの駆動部の位置変更は、運転中には行なわないで下さい。

運 転 方 法

①全てのスイッチが〝切(OFF)〟の状態になっていることを確認して下さい。

②差し込みプラグをコンセントに確実に差し込んで下さい。

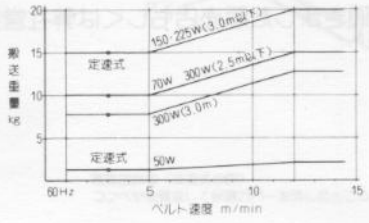
③電源スイッチを〝入(ON)〟にしますと、コンベヤは回転します。
※センタードライブタイプはRUN/STOPスイッチも〝入(RUN)〟にする。

④変速仕様の場合は、変速用つまみを右へ廻すと速くなり、左に廻すと遅くなります。作業にあった速度に調節して下さい。

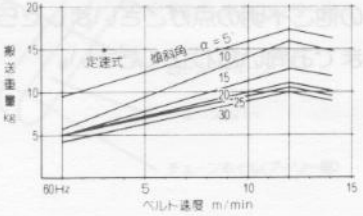
⑤コンベヤ使用時以外は、必ず全てのスイッチを〝切(OFF)〟にして下さい。

許容搬送重量

■平ベルト型/スタンダード・タイプ(水平時)



■サン付ベルト型 225W2.0Lの場合



保　守　管　理

①スイッチを入れてもコンベヤが起動しないときは、すぐ全てのスイッチを切って原因を調べて下さい。スイッチを切らないでおくとモーターが焼ける場合があります。

②長期間コンベヤを使用せず急に使用しようとするときや冬季での使用のときは、スイッチを入れる前にベルトを少し手で回すなどしてベルトと作動部をなじませてからスイッチを入れて下さい。

③運転作動中に異常音が発生したらその原因を調べて下さい。放置して使用していますと故障の原因になる場合があります。

④常時ご使用の場合は定期的に、チェーンカバーをはずして、チェーンに給油して下さい。

⑤ご使用のあとで、できれば毎日コンベヤ本体、ベルトを清掃して下さい。とくにプーリーやベルトの裏面に塵芥や油汚れ等のケイクが付着しますとベルト蛇行の原因になる場合もありますので、できるだけ完全に除去して下さい。

⑥センタードライブタイプの駆動部を移動する場合は運転を完全に停止して、駆動部側板のネジを少し緩めてから移動させてください。そのうえで駆動部とフレームが必ず平行になるようにネジを締め付けて固定させ、ベルトの蛇行調整⑵の項目のIIにしたがって蛇行調整をしてください。

⑦電気配線の結線は使用モーター、ギャヘッド、コントロールパックにより異なります。逆回転にされる場合や、結線のチェックを行なう場合は別冊のモーター、コントロールパック取扱い説明書を参照して下さい。

⑧長時間コンベヤを使用しない時は必ず差し込みプラグを抜いて下さい。

⑨その他ご不明の点がございましたら、ご購入頂きました販売店もしくは弊社営業部までお問い合わせください。

ベルトの蛇行調整（1）

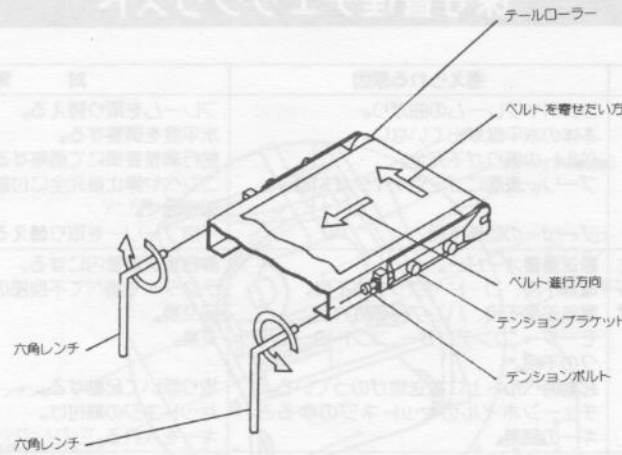
ベルトの蛇行（ベルトが真っすぐに進行せず左右何れかにうねりながら進むこと）や片寄りが生じると、ベルトが損傷する原因になります。点検調整が必要です。コンベヤの設置に関してはベルトの幅方向を直角にみて必ず水平になるようにして下さい。脚（専用脚）をご使用のときは、スライド軸を調節してお好みの高さに設置し、スタンド最下端のグライドで微調整のうえフレームが傾いたりねじれたりしないように注意して下さい。又、フレームのねじれ等がありますとベルト蛇行の原因にもなります。万一蛇行するときは下記要領にて調整して下さい。

Ⅰ．平ベルト型／スタンダードタイプおよびサン付ベルト型

①フレームの先端近くのテンションブラケット取付ボルトを緩める。

②ベルトが進行方向に向かって右へ片寄るときは、右側のテンションボルトを押し、反対のときは左側のテンションボルトを押す。

③以下少しずつ締めたり緩めたりして蛇行がなくなるまで調整して下さい。



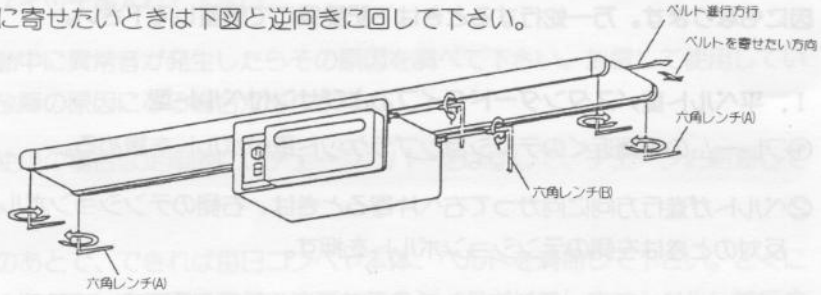
ベルトの蛇行調整 (2)

II．平ベルト型／センタードライブタイプ

①蛇行調整はなるべく六角レンチ(A)だけで行って下さい。

②ベルトを➡方向へ寄せたいときは六角レンチ(A)で→の向きに少しずつ回して下さい。六角レンチ(B)はベルトの張り及びローラー平行度の調整用です。なお、六角レンチ(B)を→の向きに回すと主にコンベヤ後部側のベルトがベルトを寄せたい方向と反対側に寄ります。（下図参照）

③逆方向に寄せたいときは下図と逆向きに回して下さい。



保守管理チェックリスト

故障状態	考えられる原因	対　策
ベルトが蛇行する。	コンベヤフレームの曲がり。 本体の水平度が出ていない。 ベルトの張りが不完全。 プーリー表面にゴミやケイクが付着。 プーリーの回転不良。	フレームを取り替える。 水平度を調整する。 蛇行調整要領にて調整する。 コンベヤ停止後完全に付着しているものを取り除く。 不良プーリーを取り替える。
電源スイッチを“入(ON)”にしてもコンベヤが動かない。	搬送重量オーバー。 電源不良、コード・プラグの不良。 電気部品不良、ハンダ付の外れ。 モーター、コンデンサー、コントロールパックの不良。 起動時ベルト上に搬送物がのっている。 チェーンホイルのセットネジのゆるみ、キーの脱落。	許容搬送重量内にする。 テスターで調べて不良部の調整、結線、部品交換。 交換。 取り除いて起動する。 セットネジの締付け。 キーを入れる。
振動や異常音がする。	各プーリーやローラーのベアリング不良。 チェーンホイルの摩耗。 伝導用チェーンのゆるみ、張りすぎ。 各部取付ボルトのゆるみ。 ベルトの摩耗。 ベルトの伸び。 搬送重量オーバー。 モーター不良。	ベアリングの交換、ローラーの交換。 交換する。 チェーンの張りを調整、給油する。 ボルトの締付け。 ベルトを交換する。 ベルトを緊張する。 許容搬送重量内にする。 交換する。

ミニラビットコンベヤ
検　査　票

種　　別〔BC 型・CD 型〕〔平ベルト・サン付〕

ベルト幅〔50・70・100・150・225・300・350・400・　〕mm

機　　長〔　　〕mm

スピード〔定速・変速〕〔　　～　　〕m/min

周 波 数〔50Hz・60Hz〕

電源仕様〔単相100V・単相200V・三相200V〕

製造番号〔　　〕

製造年月　　年　　月

検 査 日　　年　　月　　日

検査者